

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

まちかどレポート

3人の中学生が、県大会・九州大会で優勝！！

市内3校の中学生が、県大会で優勝し、九州・全国大会に駒を進めました。市教育長は生徒を激励訪問。生徒らは「一つひとつ、丁寧に勝ち上がっていきたい」「大会記録を更新できるよう、自信を持って全力で臨みたい」と意気込みや目標を述べ、その後の九州大会でも見事、全員が優勝。今後の活躍が期待されます。



1 甘木中 3年 壹岐ひなたさん (水泳女子 自由形 100M、200M)



2 大牟田中 3年 金納理輝さん (柔道男子 個人90kg超級)



3 白光中 2年 松尾真昊さん (陸上女子 800M)

世界文化遺産の魅力をたくさんの人へ

駛馬小学校の6年生が7月29日、宮原坑で九州大学社会教育主事講習の受講生の皆さんへ世界文化遺産についてガイドしました。パネルを基に説明するだけではなく、クイズを出すなど楽しく交流している姿が印象的でした。受講生の感想からは「子どもたちが自分たちのまちのことを好きであると同時に誇りに思っていることが伝わってきました」という声があがっていました。



夏の鉄道展「鉄道deあそぼう♪」開催

7月30日、31日に石炭産業科学館で、鉄道イベントが開催されました。本物の石炭を燃やして走る「ミニSL (小型蒸気機関車)」や電気で走る「ミニ炭鉱電車」の乗車体験が行われ、一度では足りず何度も乗車する子どもたちの姿も見られました。他にも鉄道模型の走行展示や西鉄バスの乗車体験会が行われ、子どもだけでなく大人からも笑顔がこぼれました。



行政相談委員 業績が認められ、総務大臣表彰

平成23年から行政相談委員を務めている日比生純二さん。その功績がたたえられ、総務大臣表彰を受けたことを市長に報告しました。市民生活課相談室や巡回相談所での相談だけでなく、市内の小学校で出前教室を開催するなど、市民と行政の架け橋として精力的に活躍しています。



予約型乗合タクシー実証実験スタート

新大牟田駅と中心市街地を乗合タクシーで結ぶ実証実験が、8月1日より始まりました。利用料金は1人1乗車につき700円。市長は「利便性の向上を図るもの。市内だけでなく、市外の人も利用して、大牟田を楽しんでもらいたい」と話しました。実験は来年2月28日まで行われます。



← いろいろな形の勾玉

古代のアクセサリー「勾玉」を制作

8月17日、小学4～6年生を対象に「勾玉づくり」が開催されました（市と三池カルタ・歴史資料館の共催）。体験を通じて文化財への愛護と普及啓発を図るもので、子どもたちは、約2時間かけて石材をサンドペーパーで削り、それぞれの思い描いた形に勾玉を成形。完成した手作りの勾玉を首からぶら下げ、古代の文化に思いを馳せました。



歴史を伝える炭鉱電車、装いを新たに

8月20日、三川坑跡にある炭鉱電車の「お色直し」を行いました。平成28年8月に移設し、大牟田の歴史を伝えてきましたが、色あせが目立ち、昨年からは1台ずつ塗り直しを行っています。今年は、市民の皆さんにも協力をいただきました。

当時と同じ塗料を使用して、隅々まで手塗りしています。見違えた姿をぜひ見に来てください。



市民憲章 制定40周年 記念式典の開催

昭和57年7月21日に制定された市民憲章は、制定40周年を迎え、大牟田市民憲章推進委員会は、これを記念し式典を開催しました。市民憲章の理念は、SDGsにも通じており、さまざまな取り組みの礎にもなっています。同会の井上会長は「この理念が、次世代へ着実に引き継がれていくよう、一層の普及・啓発に取り組みます」と挨拶しました。